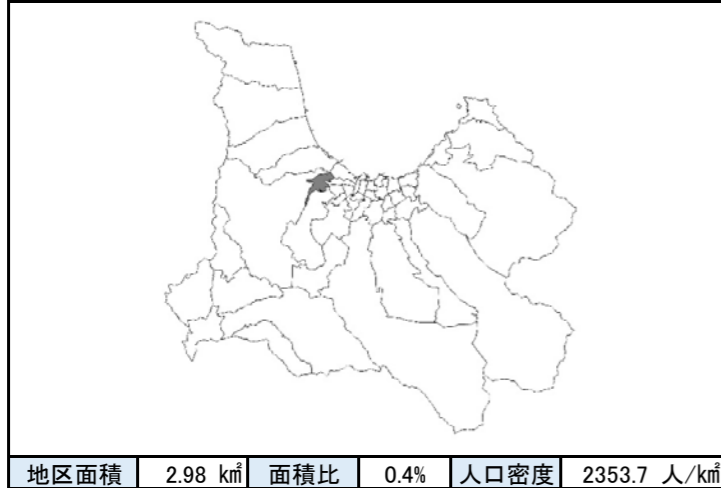


地区別防災カルテ

様式1 防災データベース

No. 17
新城小学校

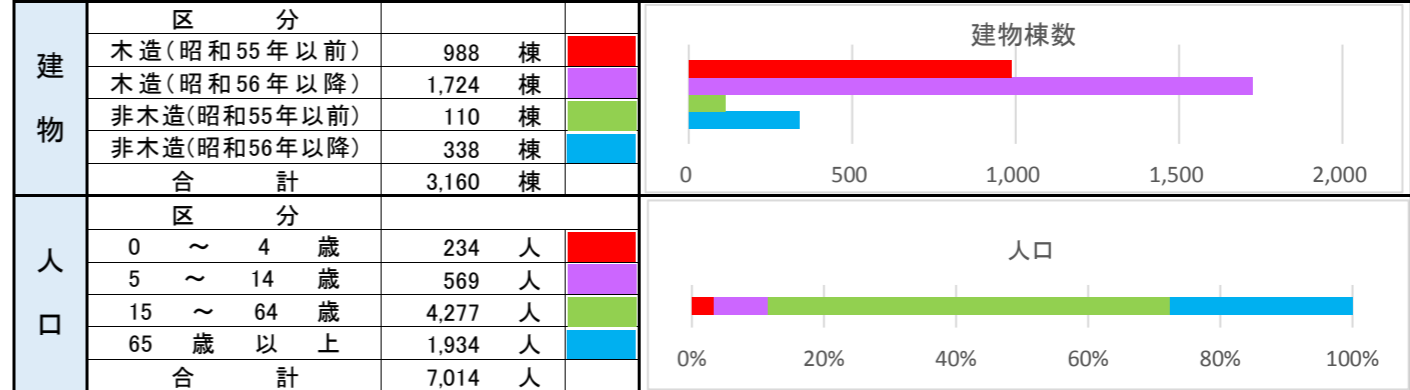
●位置図



●地区を構成する町丁

石江(字平山、字高間、字岡部の一部、字三好の一部、字江渡の一部)、新城(字平岡の一部、字福田の一部)、新田字忍、三好一丁目の一部、三好二丁目

●建物数・人口



●防災関連施設分布

市役所、支所、その他主な公共施設	3 箇所	あおり観光情報センター、すみれ寮、中央市民センター石江分館
警察署	0 箇所	
消防署	0 箇所	
消防団詰所等	1 箇所	新城分団2班
病院等	14 箇所	(公財)鷹揚郷腎研究所青森病院、おりかさ歯科クリニック、ジョイフル歯科クリニック、すずき皮膚科、すとう小児科クリニック、にこにこ歯科クリニック、よこの循環器呼吸器内科医院、井上整形外科、県立あすなろ医療療育センター、工藤内科クリニック、国立療養所松丘保養園、青森県中央児童相談所医務室、石江歯科クリニック、中野脳神経外科クリニック
幼稚園・保育園	3 箇所	さくら保育園、三内保育園、石江保育園
その他、主要配慮者利用施設	4 箇所	グループハウス石江、ケアサポートステーション清風荘デイサービス、ツクイ青森石江、七輝石江ホーム
	3 箇所	県立あすなろ療育福祉センター、新城放課後児童会(新城小学校内)、青森県中央児童相談所
	6 箇所	ねぶた、はやぶさ、県立あすなろ療育福祉センター、児童デイサービスあおねっと、就労継続支援B型 ほ・だあちや、青森県視覚障害者情報センター
学校等	3 箇所	新城小学校、青森西高等学校、青森第一養護学校
避難所	3 箇所	新城小学校、青森西高等学校、中央市民センター石江分館
広域・一時避難場所	2 箇所	みよし西公園、みよし東公園
臨時ヘリポート	0 箇所	

●地区概況・所見

- 青森市中心部の西側に位置し、北縁を新城川が流下する。校区中央に新青森駅を擁し、そこから四方へ在来線と東北新幹線が延びる。また、緊急輸送道路についても複数本横断している。
- 隣接小学校区は新城中央、沖館、篠田、三内、三内西。
- 北部は国道周辺に商業施設が多く、南部に住宅地が広がるが、校区全体に鉄道敷地が非常に多い。
- 木造建物の約半数が昭和56年以降の建築であり、比較的新しい建物が多い。

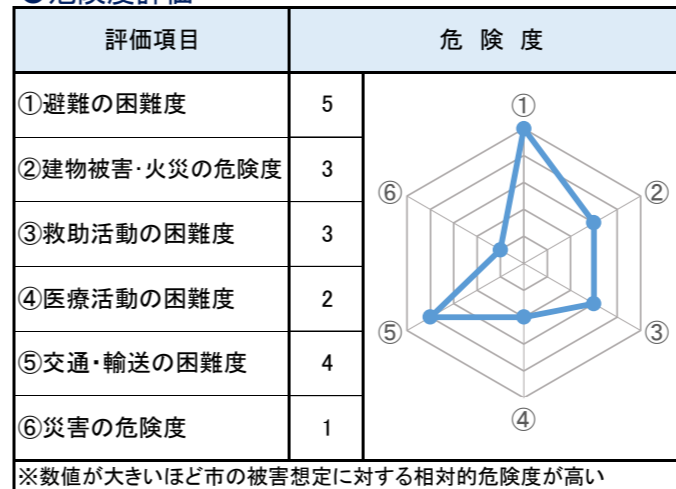
●地震被害予測結果

	入内断層地震						太平洋沖地震	
	冬18時(風速3m/s)		冬早朝深夜(風速3m/s)		夏12時(風速3m/s)		冬18時(風速3m/s)	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	662	20.95%	387	12.25%	370	11.71%	29	0.92%
建物焼失	285	9.02%	10	0.32%	13	0.41%	27	0.85%
死者	35	0.50%	25	0.36%	10	0.14%	1	0.01%
重傷者	28	0.40%	40	0.57%	32	0.46%	1	0.01%
自力脱出困難者	67	0.96%	100	1.43%	49	0.70%	0	0.00%

●近年の主な災害履歴

地震	2011年3月11日	東北地方太平洋沖地震	市内全域で約1日の停電
台風	2013年9月15日	台風18号	市内全域で(床上浸水24件/床下浸水128件/一部破損2件)
集中豪雨	2012年7月16日	大雨被害	青森地区全域で(床上浸水1件/床下浸水16件)

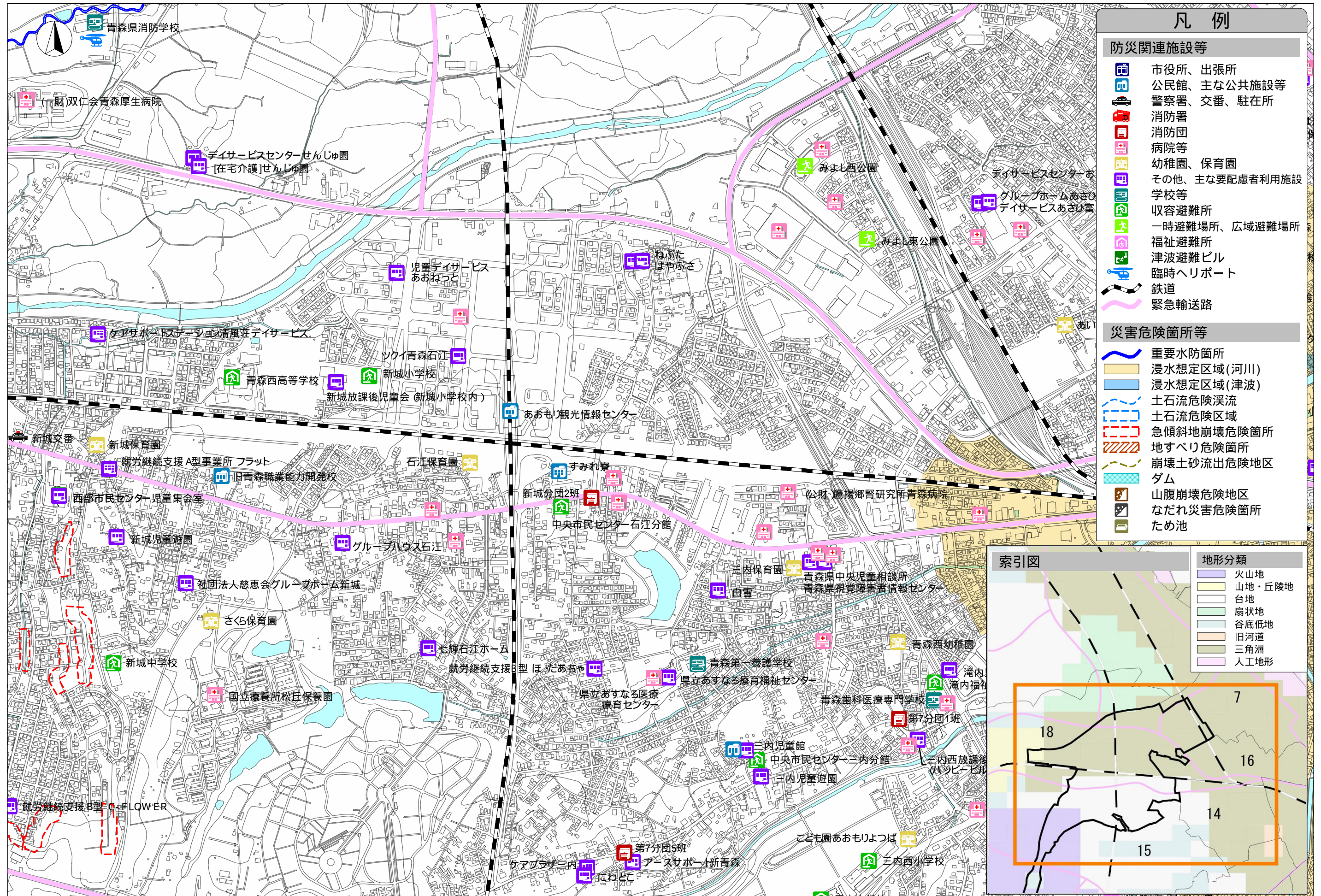
●危険度評価



●防災上の課題

- 比較的新しい建物が多く、棟間隔も広い延焼の危険性は比較的低い。
- 鉄道によって校区が分断されているため疎通性が悪く、避難困難度と交通・輸送の困難度が高いが、その他の項目は概ね低い評価である。

●メモ欄



凡例

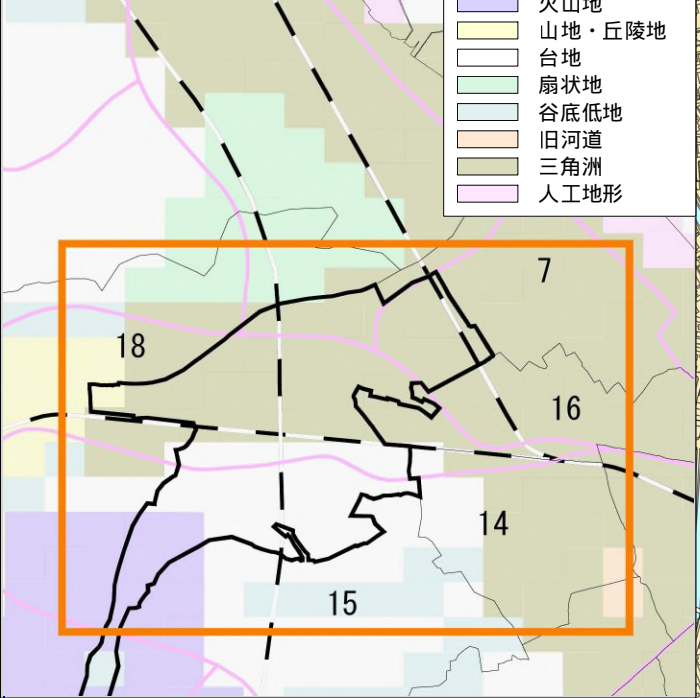
防災関連施設等

- 市役所、出張所
- 公民館、主な公共施設等
- 警察署、交番、駐在所
- 消防署
- 消防団
- 病院等
- 幼稚園、保育園
- その他、主な要配慮者利用施設
- 学校等
- 収容避難所
- 一時避難場所、広域避難場所
- 福祉避難所
- 津波避難ビル
- 臨時ヘリポート
- 鉄道
- 緊急輸送路

災害危険箇所等

- 重要水防箇所
- 浸水想定区域(河川)
- 浸水想定区域(津波)
- 土石流危険渓流
- 土石流危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所
- 崩壊土砂流出危険地区
- ダム
- 山腹崩壊危険地区
- なだれ災害危険箇所
- ため池

索引図



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
 (承認番号 平-情使、第...号)